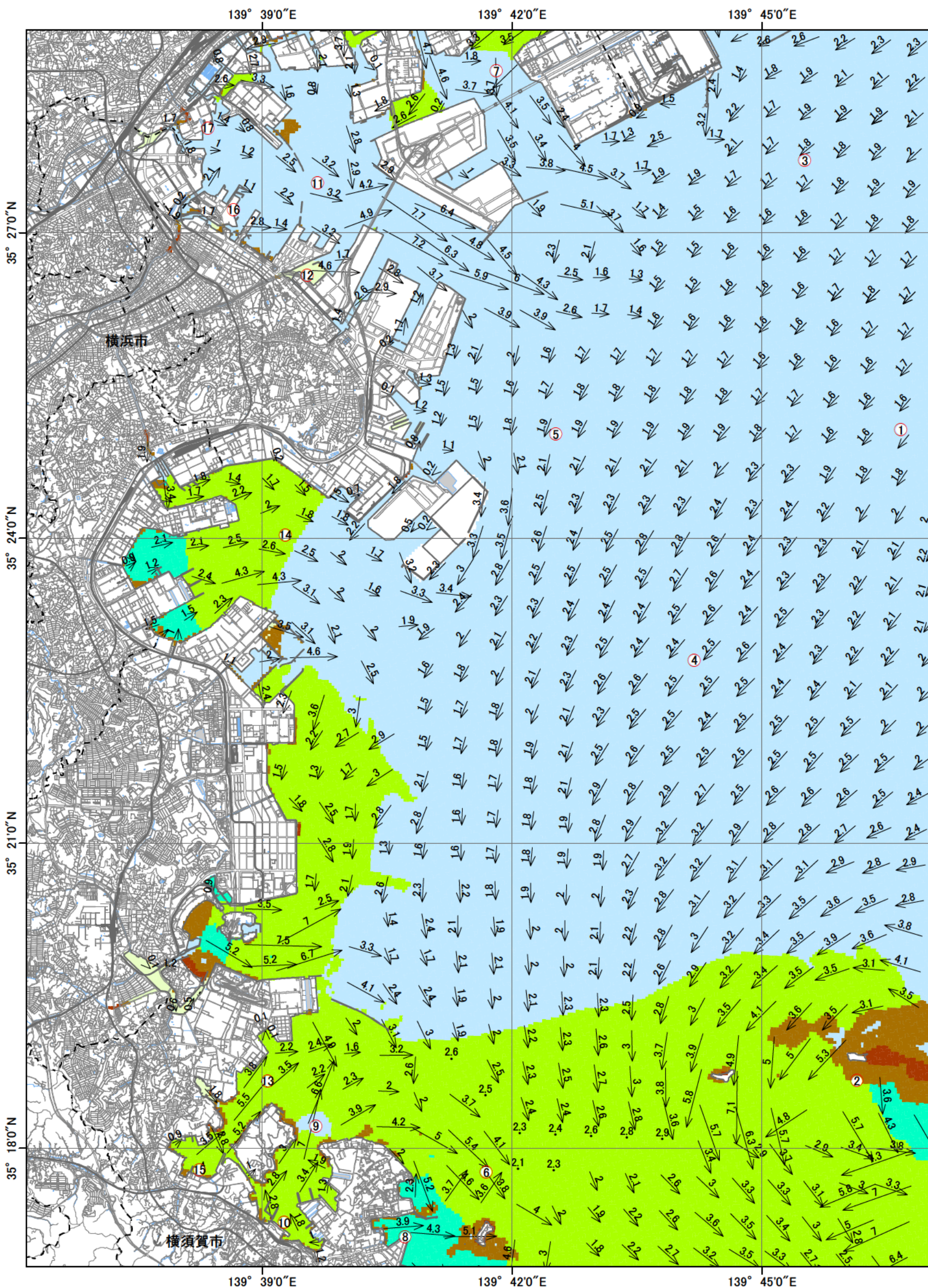




座標系：メルカトル図法  
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件： 最低水面 (零位)  
隆起量： 平均 0.37m (-0.23m ~ 0.72m)  
Zo： 1.00m~1.15m  
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



凡例

最大水位低下

- 3~最大4.2m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

経時変化図出力点  
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

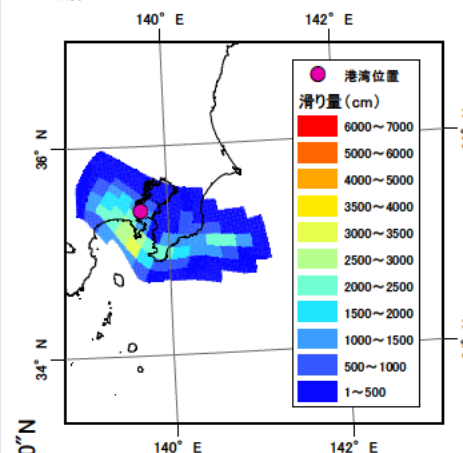
引潮時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

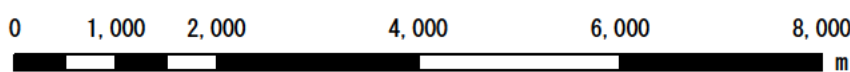
断面モデル



元禄関東地震

モーメントマグニチュード Mw 8.5

本断面モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会 (平成25年12月19日発表)」により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
・海上保安庁が保有する水深データ  
・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び基礎地図情報 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平31情使、第30号 平成31年4月5日)